

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 31 日)

NY 市場では、トランプ米大統領が製薬会社との会合で、日本と中国は通貨を切り下げていると述べ、日本の通貨政策を強く牽制したことを受けて、円買い・ドル売りが進んだ。

そして、シカゴ購買部協会景気指数、米消費者信頼感指数が市場予想を下回る結果となったことも加わり、ドルは主要通貨に対して下落となり、ドル/円は 11/30 以来の安値まで下落した。

また、欧米の主要株価が下落したことや、米債券利回りが低下したことから、クロス円も軟調な動きとなった。一方、トランプ米大統領直属の通商政策統括組織である国家通商会議の委員長が、ドイツは大幅に過小評価されたユーロを利用していると発言したことから、ユーロは対ドルで上昇となり、一時 12/8 以来の高値を付ける動きとなった。

2017 年 1 月 31 日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.53	113.84	113.24
EUR/JPY	121.47	121.85	121.30
GBP/JPY	141.74	142.39	141.74
AUD/JPY	85.84	86.08	85.72
EUR/USD	1.0700	1.0713	1.0685

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.96	113.16
EUR/JPY	122.25	121.47
GBP/JPY	142.47	141.26
AUD/JPY	86.03	85.74
EUR/USD	1.0766	1.0691

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.93	113.49	112.09
EUR/JPY	121.90	122.11	121.02
GBP/JPY	142.04	142.44	140.46
AUD/JPY	85.64	85.93	85.20
NZD/JPY	82.87	82.93	82.33
EUR/USD	1.0795	1.0813	1.0743
AUD/USD	0.7584	0.7605	0.7563

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19864.09	-107.04
S&P500	2278.87	-2.03
NASDAQ	5614.79	+1.07
日経225 (CME)	18980	-195
トロント総合	15385.96	-19.16
ボルサ指数	47001.06	-90.76
ボエスバ指数	64670.78	+369.05

2/1 経済指標スケジュール

09:01 【英国】1月BRC店頭価格指数
 10:00 【中国】1月製造業PMI・1月非製造業PMI
 14:00 【日本】1月自動車販売台数
 16:00 【トルコ】1月製造業PMI
 16:00 【英国】1月ネーションワイド住宅価格
 17:30 ~ 18:30
 【スイス】【仏】【独】【欧】【英】1月製造業PMI
 21:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 22:15 【米国】1月ADP雇用統計
 23:45 【米国】1月マークイット米国製造業PMI
 00:00 【米国】1月ISM製造業景況指数
 00:00 【米国】12月建設支出
 03:00 【メキシコ】1月IMEF製造業指数
 03:00 【メキシコ】1月IMEF非製造業指数
 04:00 【米国】FOMC

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1211.40	+15.40
NY 原油	52.81	+0.18
CME コーン	359.75	+2.00
CBOT 大豆	1024.50	+1.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.204%	1.216%
3年債	1.464%	1.478%
5年債	1.915%	1.951%
7年債	2.255%	2.294%
10年債	2.455%	2.488%
30年債	3.062%	3.088%

ドイツ10年債	0.436%	0.449%
英国 10年債	1.417%	1.444%

2/1 主要会議・講演・その他予定

・欧州議会本会議

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月南ア貿易収支 120 億 ZAR (予想 63 億 ZAR・前回 -17 億 ZAR)

前回発表の-11 億 ZAR から-17 億 ZAR に修正



出所 : Bloomberg

◀ 企業決算 ▶

米エクソン

第 3 四半期の 1 株利益は 0.63 ドル (予想 0.85 ドル)

第 4 四半期の調整後 1 株利益は 0.89 ドル (予想 0.70 ドル)

米マスターカード

第 4 四半期の調整後 1 株利益は 0.86 ドル (予想 0.85 ドル)

22 : 25

◀ 要人発言 ▶

メルケル独首相

・「ユーロ交換レートに影響を及ぼすのを望まない」

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q 米雇用コスト指数 (前期比) 0.5% (予想 0.6%・前回 0.6%)



出所：Bloomberg

米 10-12 月期の雇用コスト指数は、前期比で+0.5%となり、上昇率は前期から 0.1 ポイント縮小したものの、賃金・給与、諸手当とも伸びた。前年同月比は+2.2%と、前期から伸び率が 0.1 ポイント縮小した。前期比では、賃金・給与が+0.5%、医療保険などの諸手当が+0.4%、前年同期比では賃金・給与が+2.3%、諸手当が+2.1%となった。民間企業の雇用コスト指数は、前期比+0.5%、前年同期比では+2.2%。政府部門の雇用コスト指数は、前期比+0.5%、前年同期比では+2.4%だった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月カナダ GDP (前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 -0.2%)
 前回発表の-0.3%から-0.2%に修正

11 月カナダ GDP (前年比) 1.6% (予想 1.4%・前回 1.6%)
 前回発表の 1.5%から 1.6%に修正



出所：Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 192.14 (前回 191.77)

前回発表の 191.79 から 191.77 に修正

11 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) 0.88% (予想 0.70%・前回 0.68%)

前回発表の 0.63%から 0.68%に修正

11 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 5.27% (予想 5.00%・前回 5.09%)

前回発表の 5.10%から 5.09%に修正



経済指標データ

◀ S&P/ケース・シラー住宅価格指数 ▶

(米主要 20 都市) 季調前

11 月・・・10 月・・・9 月・・・8 月・・・7 月・・・6 月

指数・・・192.14・・・191.77・・・191.64・・・191.43・・・190.75・・・189.73

前月比・・・0.19・・・0.07・・・0.11・・・0.36・・・0.54・・・0.79

前年比・・・2.27・・・5.09・・・5.01・・・5.00・・・4.93・・・5.05

(米主要 10 都市) 季調前

11 月・・・10 月・・・9 月・・・8 月・・・7 月・・・6 月

指数・・・205.94・・・205.54・・・205.55・・・205.38・・・204.70・・・203.70

前月比・・・0.19・・・0.00・・・0.08・・・0.33・・・0.49・・・0.69

前年比・・・4.50・・・4.25・・・4.18・・・4.17・・・4.07・・・4.18

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q メキシコ GDP (前期比) 0.6% (予想 0.6%・前回 1.0%)

4Q メキシコ GDP (前年比) 2.2% (予想 2.2%・前回 2.0%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

1月シカゴ購買部協会景気指数 50.3 (予想 55.0・前回 53.9)
前回発表の 54.6 から 53.9 に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《シカゴ購買部協会景気指数》

1月・・・12月・・・11月・・・10月・・・9月・・・8月・・・7月
 景気指数・・・50.3・・・53.9・・・57.2・・・51.8・・・54.0・・・51.6・・・55.8

23：50

《 要人発言 》

トランプ米大統領

- ・「中国と日本はマネーマーケットを仕組んでいる」
- ・「他国は通貨切り下げを利用している」
- ・「他国は通貨切り下げ、日中は金融市場を手玉にとっている」

0：00

《 経済指標の結果 》

1月米消費者信頼感指数 111.8 (予想 112.9・前回 113.3)
 前回発表の 113.7 から 113.3 に修正



出所：Bloomberg

1月の米消費者信頼感指数は、市場予想を下回る 111.8 となり、2001 年 8 月以来約 15 年ぶり高水準だった前月から低下した。向こう 6 カ月の期待指数は 99.8（前月 106.4）に低下し、下げ幅は 2015 年 11 月以来最大。現況指数は 129.7 と、前月の 123.5 から上昇した。向こう 6 カ月に雇用が増えるとの回答は 19.8%と、前月の 21.7%から低下。向こう 6 カ月に所得の増加を見込むとの回答は 18%と、前月の 21.5%から下げた。そして向こう 6 カ月に事業環境が改善するとの回答は 23.1%と、前月の 24.7%から低下した。

0：30

◀ 要人発言 ▶

ライアン下院議長

- ・「党首脳部は、入国制限大統領令の作成に関与せず」
- ・「大統領令の発令と同時に内容の説明受けた」

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、シカゴ購買部協会指数や、消費者信頼感指数がいずれも 市場予想を下回ったことで米景気の先行き不透明感が広がり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。また、トランプ米大統領の移民政策などを巡る警戒感も投資家のリスク回避の動きにつながり、国債の買いを促した。

午前の利回りは、30 年債が 3.04%（前日 3.08%）、10 年債が 2.44%（2.49%）、7 年債が 2.23%（2.29%）、5 年債が 1.90%（1.95%）、3 年債が 1.44%（1.48%）、2 年債が 1.19%（1.21%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、序盤から堅調な動きとなったものの、トランプ米大統領の移民政策などを巡る警戒感や、米要人発言を受けて、ユーロ高・ドル安が進んだことで、輸出企業の業績悪化懸念も広がり、主要株価は下落に転じた。



出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 15.40 ドル高の 1 オンス＝1211.40 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米大統領が日本と中国の通貨政策を批判したと伝わり、ドルが円などに対して下落となり、ドルの代替資産とされる金の買いが膨らんだ。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.18 ドル高の 1 バレル=52.81 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国による減産が進んでいるとの見方から、需給引き締めへの期待が高まった。また、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感が出たことも支援材料となった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

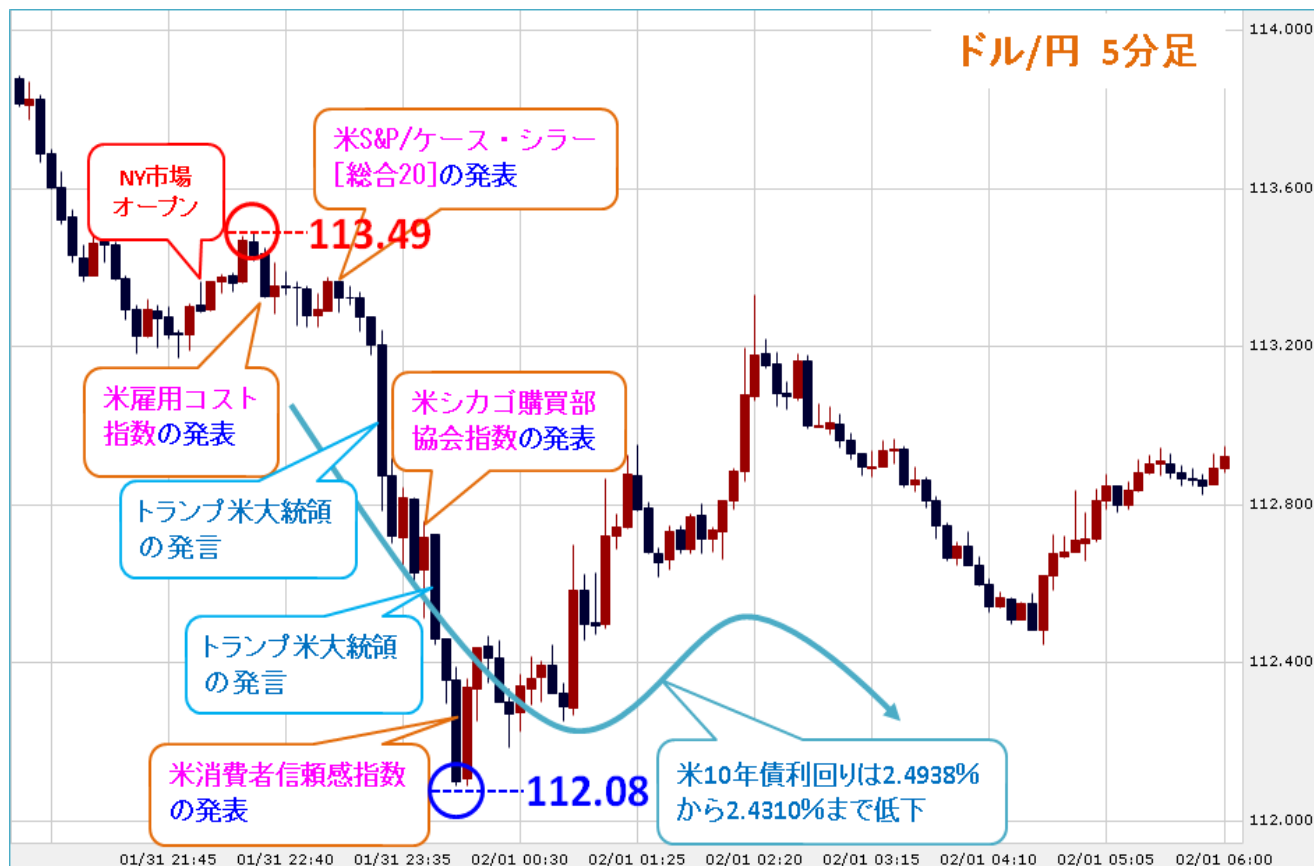
米株式市場は、トランプ米大統領が進めるイスラム圏 7 カ国からの入国禁止政策を巡る混乱が広がっていることが引き続き材料視され、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。ただ、終盤には下げ一服となり、下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 186 ドル安まで下落した。その後は、下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、トランプ大統領が、日本の通貨政策を牽制したことを受けて、円買い・ドル売りが優勢となった。また、主要な米経済指標が予想を下回る結果となったことや、欧米の株価が下落したことも加わり、リスク回避の円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。午後には、円買いの動きも一服し、値を戻す動きが見られたものの、その後は上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。